

総社市市民提案型事業

地域の絆づくり推進事業

令和元年度中間報告会

西郡地区の絆を推進する会

西郡自治会、山手公民館西郡分館

西郡地区の現状について

山手地区の人口の推移



西郡地区は人口が急増

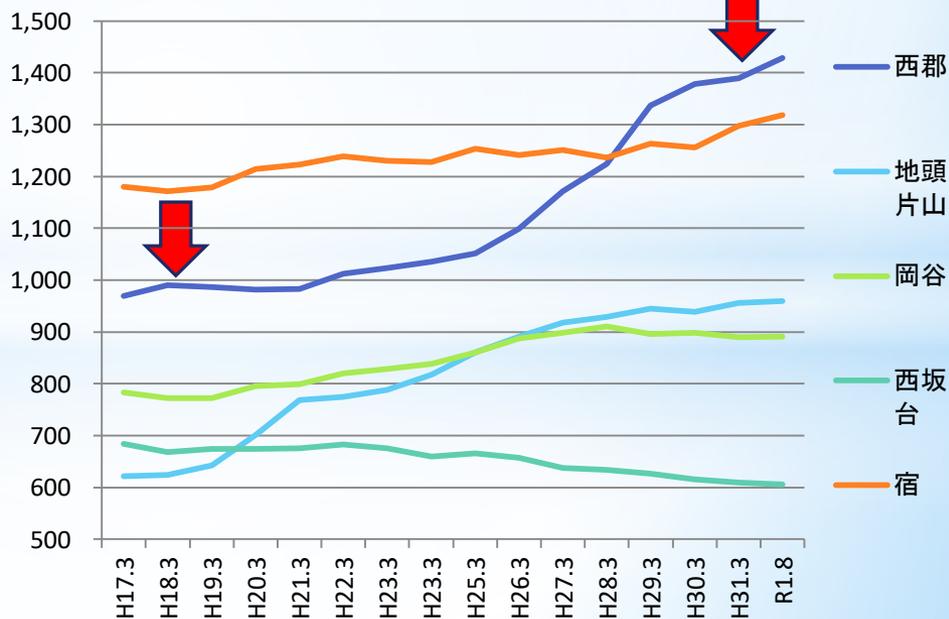
山手地区(西郡)

平成17年3月
(総社市合併時)

4,273人(969人)

令和元年8月

5,205人(1,429人)



令和元年度 地域の絆づくり推進事業

住民が急増する西郡地区で、地域の歴史や文化を継承し、安全で安心して暮らせる住みよい西郡をつくる。

(1) 自治会、公民館分館、消防団など地域の諸団体と協働して、地域の安全と安心を確保する活動を主眼とする。

(2) 「防災シンポジウム」開催し、地域の皆さまの関心と理解を深める。

(3) これを契機に、地域の安全と安心を確保と生活に役立つ情報を的確に提供し、地域の歴史、伝統、くらしなどを新たな住居を定められた方々や若い世代に継承し、地域の一体感を高める。

(4) 活動を通じて、地域づくり・絆づくりに意欲ある人材を発掘し、地域の将来を支える次世代やリーダーを育成する。

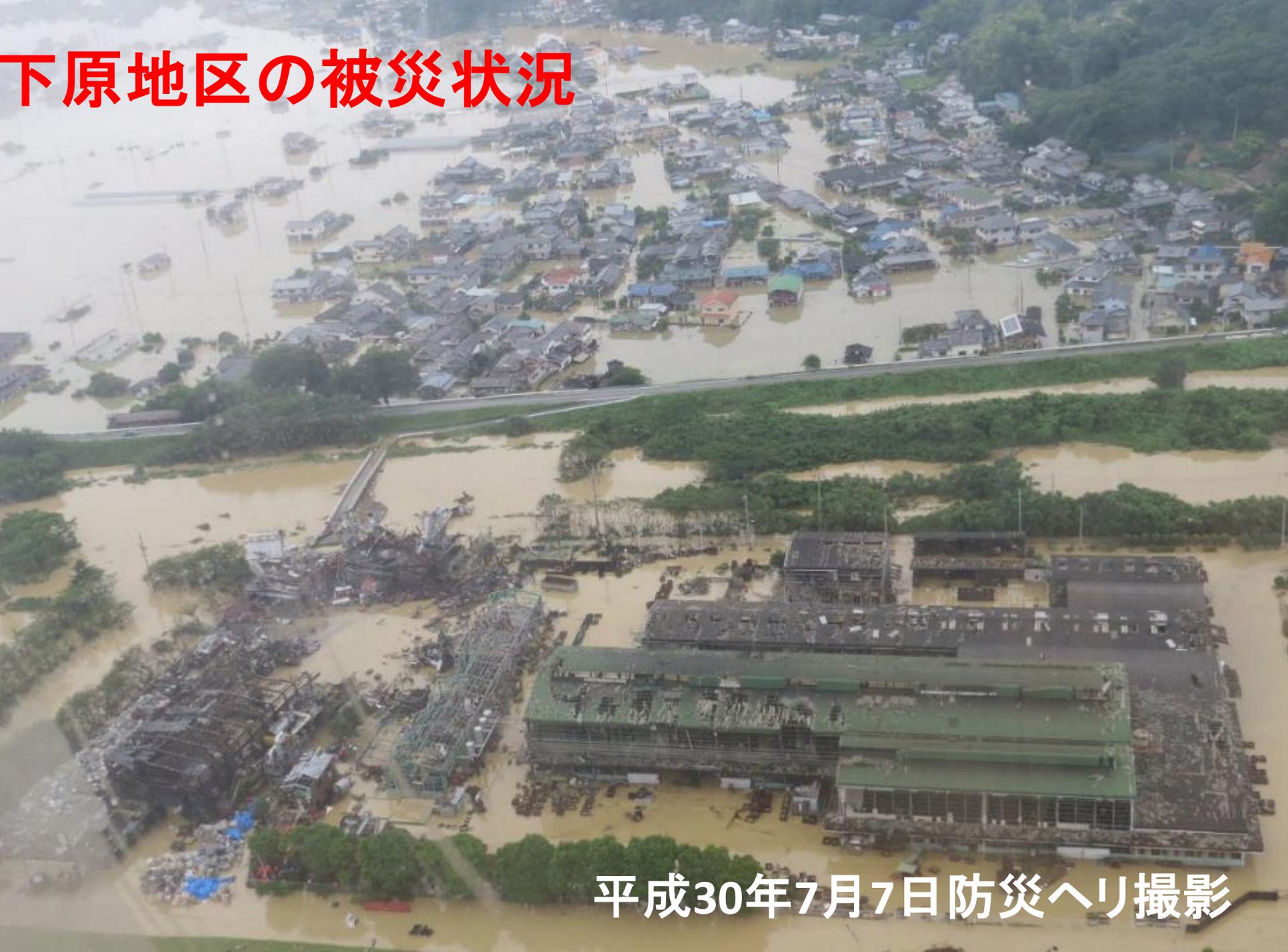
平成30年7月豪雨の発生

真備町、市内(下原・昭和地区)などで甚大な被害が発生



安全・安心 「晴れの国 岡山・総社」の印象が一変

下原地区の被災状況



平成30年7月7日防災ヘリ撮影

防災に関する講演会の開催

総社市市民提案型事業

平成27年

《防災講演会・防災体験》

地域の災害を知る

入場無料
先着順



日時: 8月23日(日) 13:00~
会場: 総社市山手公民館

講演会: 13:30~16:00

講演1 岡山県南部で想定される自然災害
元京都大学防災研究所長 奥田 節夫

講演2 豪雨土砂災害の発生機構と対策について
(広島市土砂災害の教訓)
岡山大学大学院教授 西村 伸一

講演3 家族で見よう
総社市の防災サイトとデジタルハザードマップ
岡山県立大学造形デザイン学科講師 齋藤 美絵子

パネルディスカッション

コーディネーター: 前岡山理科大学教授 野上 祐作
講演者の他、総社市危機管理室長、消防本部警防課長

防災体験: 16:00~16:30 総社市消防本部

化学消防車による放水、起震車による地震体験、
消火栓を用いた初期消火、操作方法などの体験

主催: 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、
西郡自治会、山手地域づくり協議会

後援: 総社市、総社市教育委員会、
総社市消防本部、総社市社会福祉協議会

問合せ先: 絆を推進する会事務局(担当: 剣持、TEL 090-8714-5037)

協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園



絆塾

平成28年

総社市市民提案型事業
西郡地区の絆を推進する会

《防災講習会》

「地域の安全と安心を考える」

日時: 8月21日(日) 9:00~11:30
会場: 西郡分館(公正館)

- 1 身近に感じはじめた気候変動の影響や災害について
(西郡地区の絆を推進する会)
- 2 総社市の危機管理対策と西郡地区の課題(総社市危機管理室)
①防災、水防、地震、土砂災害、ハザードマップ等について
②意見交換会(住民代表との意見交換)
- 3 救急法等講習(総社市消防本部)
①救急法講習(救急処置法、心肺蘇生法、AEDの取扱等)
②防火の基礎知識、緊急消火法(消火器の取扱)等の説明

参加申込先は、西郡自治会評議員または下記責任者をお願いします。

剣持 堅志 93-5260、新谷 修 080-2892-9988
板野 誠 93-6499、剣持 都夫 080-1922-5459

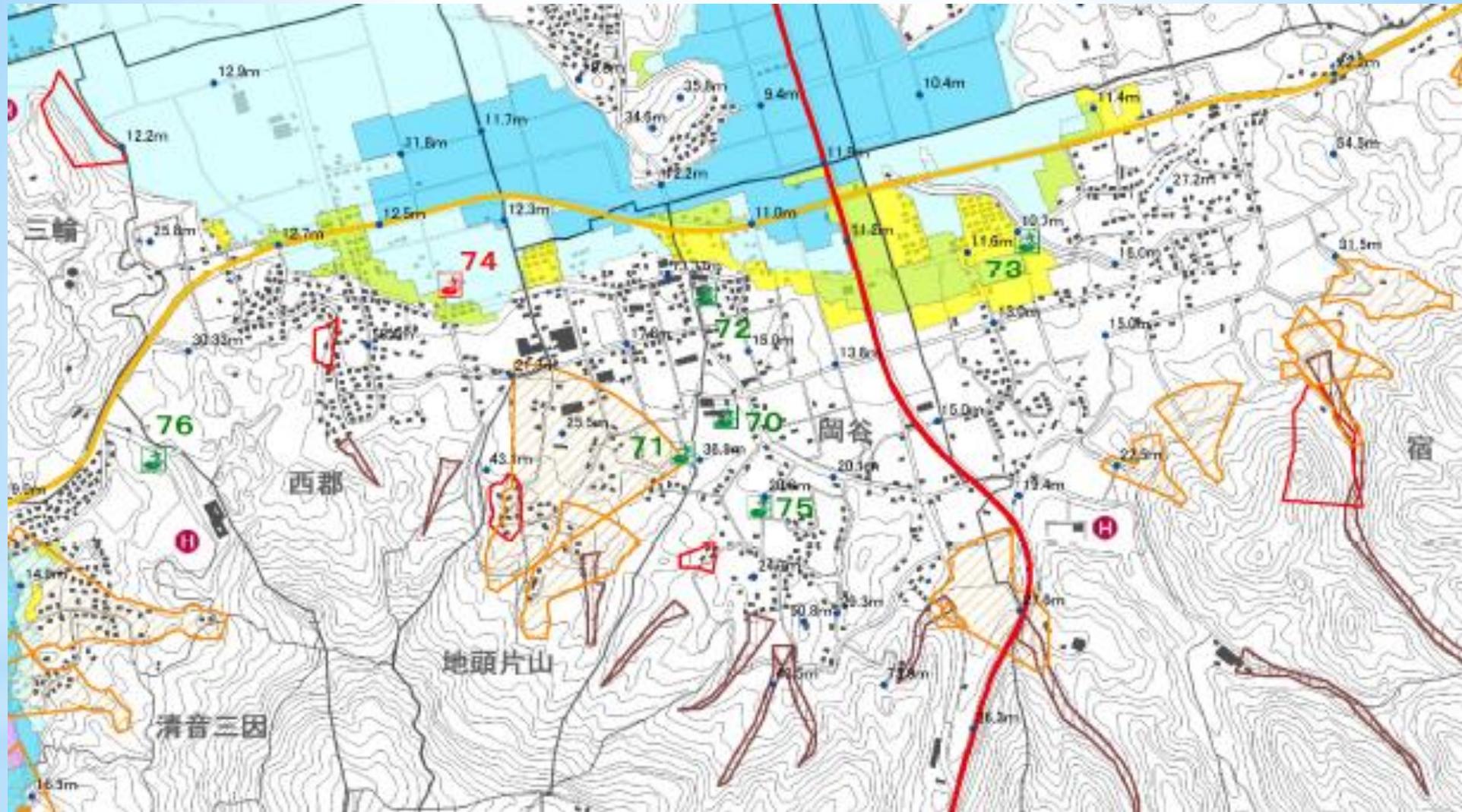
締切 8月14日(日)



主催: 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会

協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園

地域の洪水・土砂災害ハザードマップの周知(平成30年8月号絆塾ニュース)



県道270号線(清音真金線)以北は、2~5mの浸水が予想されます。近隣には、土砂崩れが想定される地域もあります。避難指示がでた場合は、山手公民館または小学校に避難ください。詳細は、「西郡の歴史とくらし(くらし編)」7ページ、市ホームページなどをご覧ください。

被害状況の緊急調査を実施（平成30年9月号絆塾ニュース）



福山頂上東鳥居から下へ約30m
山から崩れて道をふさいでいる

八畳岩横の道、岩横から崩れて
道をふさいでいる。



頂上東の鳥居から下へ約20m、道の
2/3が下の片山側へ崩れる。

北の幸山側から登り道が崩れ
ている。



岡谷地区で発生した土砂崩れ



宿地区で発生した土砂崩れ

地域防災への取り組みの強化

「西郡地区の防災を考える会」の発足（平成30年9月）

1 参加団体

自治会、消防団、土木委員、民生委員、福祉委員、子供会、シルバークラブ分館運営委員、絆塾など11団体の代表など17人が参加した。

地域内の災害発生危険箇所の事前調査、高齢者や避難弱者の方々の避難に向けた連絡体制や見守りの強化、事前把握の必要性などについて議論した。

2 第1回会議（9月29日（土）公正館）

①7月豪雨災害 総社市の被害の実態などについて

総社市消防署教養訓練係 主査 永野 男 氏から凄まじい災害のつめ跡や発生直後からの救助活動の実態をパネル写真も交えて説明を受けた。

②気象変化が与える災害発生への影響について

絆塾から、地球温暖化による気候変動が今までの防災インフラの想定を越えていること、また南海トラフ大地震で想定される影響について報告した。

3 第2回会議（12月22日（土）公正館）

水害とアルミ工場爆発事故に遭遇したにもかかわらず、1名の犠牲者を出すことなく全員避難を達成した下原地区の自主防災組織副本部長の川田一馬氏をお招きし、被災状況や自主防災組織の活動についてご講演をいただいた。

「総社防災シンポジウムの開催」

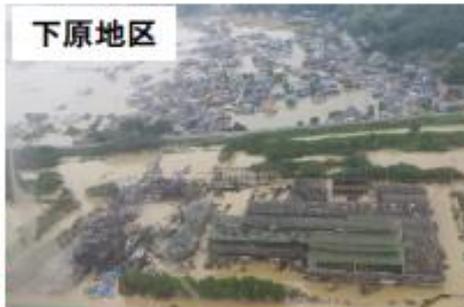
令和元年度 総社市市民提案型事業

総社防災シンポジウム 安全・安心の地域を創る

8月25日(日) 総社市山手公民館
開会 13時30分～
基調講演 13時50分～
パネルディスカッション 15時15分～



主催 西郡地区の絆を推進する会
共催 山手地域づくり協議会、西郡自治会
後援 総社市、総社市社会福祉協議会
協賛 農マル園芸 吉備路農園



真備町のお生まれで今回の西日本豪雨災害に遭遇された高知県立大学大学院教授**神原咲子先生**(専門:災害看護学、総社高校ご出身)をお招きして**災害時における健康支援活動**についてご講演をいただきました。

また、洪水と爆発事故に遭遇したにもかかわらず**1名の犠牲者を出すことなく住民全員の避難を達成した下原地区**の自主防災組織**川田一馬氏**から避難訓練の重要性について、今回の災害において多大な医療支援をいただいた**AMDA理事 難波妙氏**(山手在住)から**AMDAの医療支援**についてご講演をいただきました。

パネルディスカッションでは、講師の先生方とともに、総社市の防災関係者、地域防災を担う関係者の皆様と**今後の地域の防災のあり方を探りまし**

高知県防災組織視察研修への同行



特定非営利活動法人そーる 片岡 奈津子氏



宇佐町防災新聞 号外

「真備町被災後1年の現状」 視察研修参加者募集

異常気象が多くなった日本
その時貴方は何が出来ますか？
真備町に学ぶ事は多いはず。

講師紹介

高知県立大学看護学部
災害看護学
国際看護学
教授 神原 咲子氏



現地での予定

午前10時ごろ「まびシェア」
に到着後、神原先生より昨年の豪
雨の災害状況の解説をしていただ
きます。

昼食後は現地の被災中学校、ア
ルミ工場爆発現場、被害家屋、災
害ゴミ収集箇所、避難所等を視察
します。

避難所で救助活動をする神原先生

令和元年7月7日（日） 日帰り

申し込み

集合：午前6時50分
USAくろしおセンター駐車場

宇佐町自主防災連絡協議会

出発：午前7時
帰着：午後6時予定

事務局：橋本博明
080-8630-2058

参加人員：40名

参加費：無料

参加希望のかたは
自治会名・氏名
電話番号（可能であれば携帯）を
お知らせ下さい。

昼食：自己負担
（千円弁当を現地で用意）

バスの定員になりしだい締め切ります

宇佐町自主防災連絡協議会主催

総社防災シンポジウムの開催

高知県立大学教授神原咲子先生による基調講演の後、地域の防災を担っている関係者によるやパネルディスカッションを行い、地域住民、防災関係者など182名の方々に参加いただきました。



片岡市長
今後の防災への取り組みについて



神原咲子先生
「いまこそ考え直そう！！健康と生活と災害を」

基調講演

下原・砂古自主防災組織副本部長の川田一馬氏からは、犠牲者ゼロは奇跡ではなく日頃からの訓練のたまものであること、更に山手地区ご在住でAMDA理事の難波妙氏からは、市の災害対策本部と連携したて様々な医療援助やAMDAの活動について講演いただきました。



川田一馬氏
自主防災組織の取り組みについて



難波妙氏
「AMDAの災害支援について」

パネルディスカッション

地域の防災を担っている「そうじゃ防災士の会」や山手地区各自治会防災責任者、さらに総社市等の防災の強化にご尽力いただいている市関係（危機管理室、消防本部、社会福祉協議会）の皆様とともに開催し、フロアーからも数多くの質問が寄せられ、時間を30分間延長するほどの活発な討論が行われました。



防災展示

1階フロアでは、「おかやま Free Wi-Fi」を活用した防災サイトの検索、総社市の中・高校生のボランティア活動を紹介した「がんばろう総社」の放映、防災用品、被災状況の展示を行いました。



↑
おかやま防災
ポータルなど
の紹介



← 「がんばろう総社」の
放映と防災用品の展示

今後の防災活動について

※連絡網の整備

要支援者名簿の作成

- ・避難行動要支援者名簿(市町村に作成義務)の活用
- ・高齢者・障がい者・乳幼児等の要配慮者の把握

安否確認方法の確立

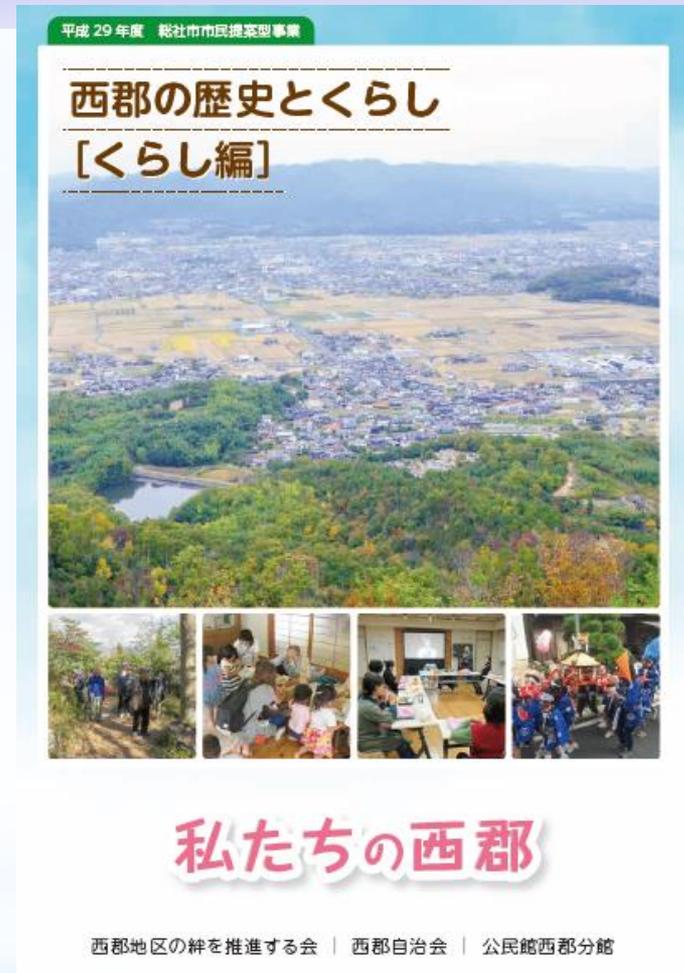
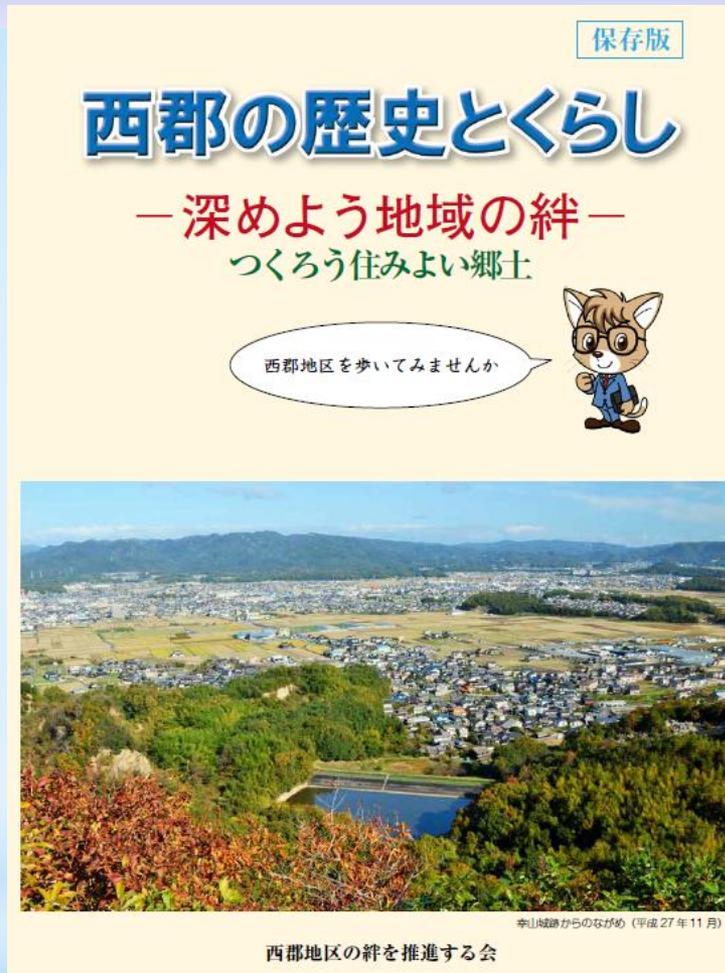
※災害時緊急伝達の方法

※地区内危険個所の調査と住民への周知

- ・危険な水路把握
- ・地区内ため池の点検
- ・土砂崩れの危険性の把握

※自治会自主防災組織の発足へ

「西郡の歴史とくらし」3部作 「防災編」の発刊

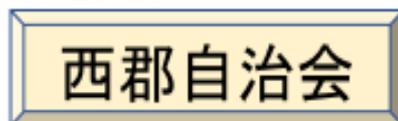


今後の「西郡地区の防災を考える会」の活動によって得られる様々な**防災情報**（危険箇所、避難場所の案内、避難訓練、過去の災害の記録、ハザードマップなど）をまとめた**「防災編」**を発刊し、地域情報誌3部作としてとりまとめ、地域の安全に資する。

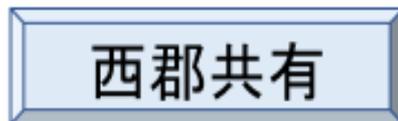
共有地の管理改善を目的とした 自治会への移管手続きの推進

共有地管理の自治会への移管

任意団体

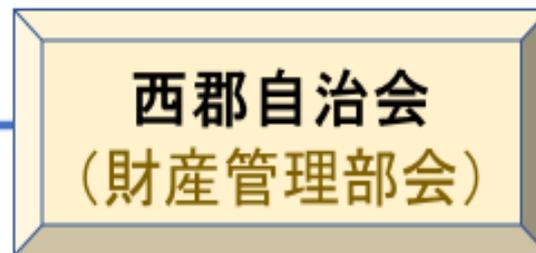


任意団体

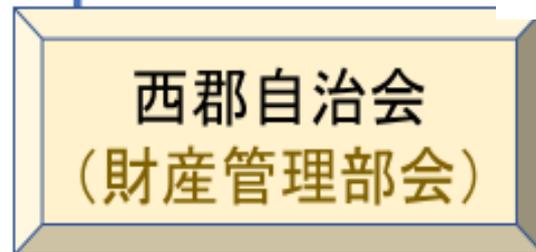


共有地管理の移管

任意団体として合併 (H30年4月)



認可地縁団体へ移行 令和元年8月8日付で認可



任意団体 (人格なき社団) である共有と自治会を合併し、自治会に共有地管理の実績を移す。

認可地縁団体に移行した自治会に「登記の特例」を活用して共有地を移管する。

「登記の特例」を活用した共有地の自治会への移管 令和2年3月末を目標

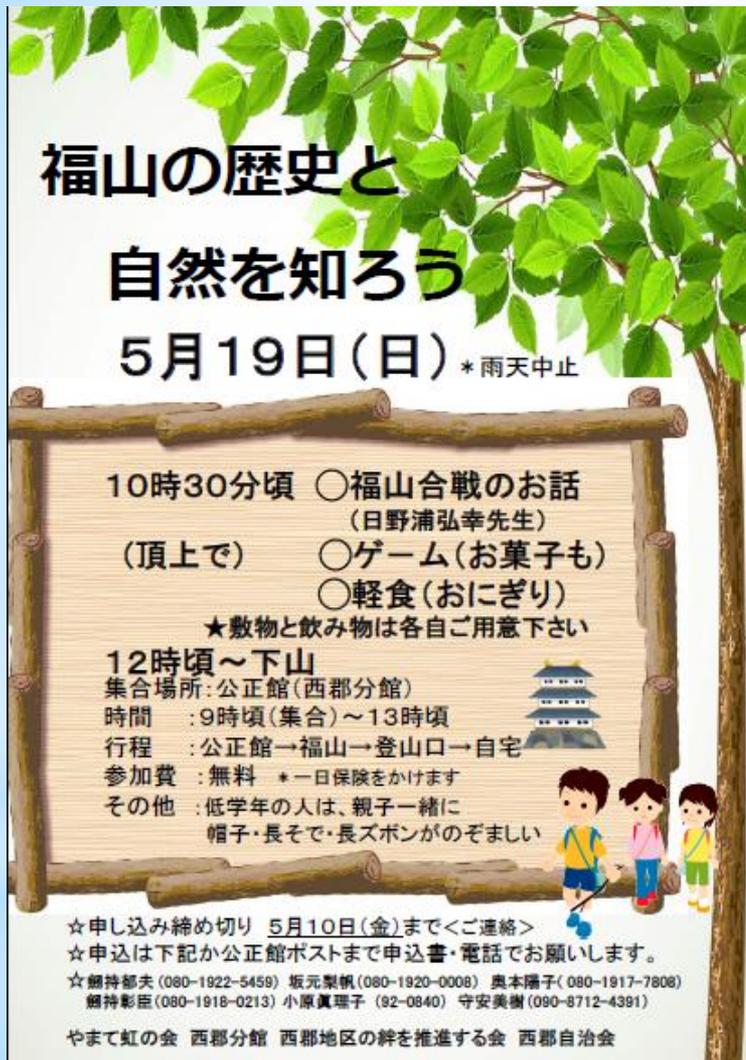
住民の交流を深めるための情報・映像設備の充実



県立大学学生ボランティアによる
子どもたちのインターネット検索の活用

総社市の「緊急告知ラジオ こくっち」と「歩数計リーダ」を公正館玄関に設置した。7月豪雨発生時には、「こくっち」の効果を確認できた。また、災害時も利用できる地域共用パソコン2台を設置し、リアルタイムに様々な情報を活用できる態勢を整えた。

市民参加型事業の開催と協力



**福山の歴史と
自然を知ろう**
5月19日(日) *雨天中止

10時30分頃 ○福山合戦のお話
(日野浦弘幸先生)
(頂上で) ○ゲーム(お菓子も)
○軽食(おにぎり)
★数物と飲み物は各自ご用意下さい

12時頃～下山
集合場所:公正館(西郡分館)
時間 :9時頃(集合)～13時頃
行程 :公正館→福山→登山口→自宅
参加費 :無料 *一日保険をかけます
その他 :低学年の人は、親子一緒に
帽子・長そで・長ズボンがのぞましい

☆申し込み締め切り 5月10日(金)まで<ご連絡>
☆申込は下記公正館ポストまで申込書・電話でお願いします。
☆顧問 梶野 夫(080-1922-5459) 坂元 梨帆(080-1920-0008) 奥本 陽子(080-1917-7808)
顧問 影臣(080-1918-0213) 小原 真理子(92-0840) 守安 美樹(090-8712-4391)
やまて虹の会 西郡分館 西郡地区の絆を推進する会 西郡自治会

西郡盆踊り大会

日時 8月14日(水) 18:30～21:00
場所 公正館広場 雨天決行



伝統の地踊りで、ご先祖様や昨年の豪雨でお亡くなりになられた方々をご供養し、これからの西郡の安全と安心を祈りましょう。

大会は、皆様の篤志(御花)により運営されています。
本年は、**花火の打ち上げ、様々なバザー**を行いますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

主催 西郡地踊り保存会
後援 西郡自治会、西郡地区の絆を推進する会
協賛 アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園

地元の諸団体と共同して様々な市民参加型事業を開催している。

伝統行事への協力

木野山様 子どもみこし 西郡 郡神社大祭

開催日 7月21日(日)
みこし: 7時30分郡様出発
(みこしは、雨天時中止)
大祭: 午後6時からお接待



西郡の子どもたちが、地区を巡行します。
今年の巡行は、『太鼓打ち鳴らし隊』が先導しますので、太鼓の音が聞こえたら、子どもたちを暖かくお迎えください。

郡様では、午後6時からお接待を行いますので、ご家族の皆様と一緒にお願いします。

主催: 西郡自治会、西郡子供会、西郡地区の絆を推進する会
問い合わせ先: 下3組(小原、92-0840)

牛神様 子供相撲大会



牛神様

9月29日(日) 午前10時～

雨天中止

※参加資格: 西郡地区在住の小学生以下の子供
参加者全員に、賞品を用意してお待ちしています。

※スポーツ(相撲)のできる服装で、タオル等忘れないで城根池近くの牛神様に集合してください。



西郡自治会(下3組)、西郡地区の絆を推進する会
申込先: 自治会評議員、公正館郵便箱へ入れてください。
問合せ先: 下3組(小原、92-0840)

伝統行事を活発化するため、ポスター作成や軽トラ広報車の運行などの役割を担っている。

絆塾ニュースの毎月発刊



『絆塾』ニュース（令和元年8月号）

西郡地区の絆を推進する会
西郡自治会、公民館西郡分館

今年の梅雨入りが大変遅くなったせいか、梅雨明けも例年になく遅く7月下旬となりました。毎年何かしらいつもと違う気象変化が起きているように感じます。

昨年の西日本豪雨災害から1年が経過しました。この災害により多くの方が多少なりとも災害に対する意識が変わったことと思います。今後の災害に備え、いざという時にどう行動し何をすればいいのかを皆様と一緒に考えていくため、総社防災シンポジウムを下記のとおり開催しますので、多くのご参加をお願いします。

西郡地区の絆を推進する会 会長 板野 誠

1 総社防災シンポジウムの開催について

今回山手地域づくり協議会と共催し、総社市などのご協力により「総社防災シンポジウム」を8月25日（13:30から）山手公民館で開催します。

このシンポジウムでは、昨年の甚大な豪雨災害をふまえて「安心の総社・岡山」の認識を変える必要があることを共有化し、来たるべき大規模地震の発生にも備えて、今後の地域防災のあり方を考え、具体的な自主防災の活動としていく契機としたいと思っています。

この絆塾ニュースと一緒に、総社防災シンポジウムのチラシをお届けしますので、ご質問のうえ積極的にお申込みをいただけますようお願いいたします。山手公民館（多目的ホール）に300人を超える方々の参加をいただいで、有意義なシンポジウムしたいと考えますので、どうぞよろしくお願いたします。

今回のシンポジウムでは、冒頭に片岡 聡一総社市長をお迎えして、今後の総社市の防災への取り組み方について、ご説明いただきます。

基調講演では、災害看護学の専門家、総社高校ご出身で実家が真備町あることから、7月豪雨水害を目のあたりにされた高知県立大学大学院教授 神原 咲子先生をお迎えし、災害時における救急処置の現場や真備町の被災状況についてお話をいただきます。

また、昨年の7月豪雨において爆発事故や浸水被害を受けたにもかかわらず一人の犠牲者を出さず地区民全員の避難を達成された下原・砂古自主防災組織代表 川田 一馬氏から、「昨年の災害時の大変貴重な体験や日頃の自主防災活動について」お話をいただきます。

さらに豪雨災害の際に的確な医療と災害支援をいただいた AMDA（アムダ）理事の難波 妙氏（宿地区在住）から「AMDA(アムダ)の役割について」お話をいただきます。難波氏はご実家が熊本県益城町で、3年前の熊本地震発生の際には総社市と合同チームを結成し、熊本県に対する災害支援にあたられました。昨年の7月豪雨に際しては、直ちに総社市と救援活動にあたる方針を協議・確認し、即座に避難所の巡回を開始し、更に8日午前には医師ら33人とともに避難所内に救護所を設置するなど迅速なご支援をいただきました。

講演の後にパネルディスカッションを開催します。

講演者の皆様とともに、地域の自主防災を担っている「そうじゃ防災士の会」や山手地区

各自治会防災責任者、さらに総社市の防災の強化にご尽力いただき、実務を担当している市の関係機関（社会福祉協議会、消防本部、危機管理室）の皆様とともに、今後の地域防災のあり方や強化策について活発な議論をしたいと考えます。

1階ではハザードマップ、防災用品などの展示を行いますので是非ご覧ください。

2 避難勧告等に関するガイドラインが改定されました。

平成31年3月29日で改定されたガイドラインでは、住民等が情報の意味を直感的に理解できるように、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を明確化しています（内閣府政府広報）。

【警戒レベル1】気象庁から「早期注意情報」が発令

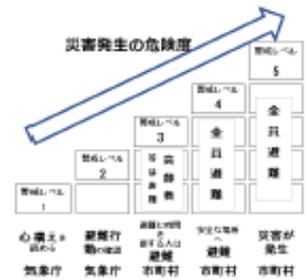
【警戒レベル2】大雨・洪水注意報が発表される段階

【警戒レベル3】高齢者等の避難が必要になる段階

【警戒レベル4】全員の避難が必要となります。

【警戒レベル5】命を守るための行動が必要になります。

これが現在の避難指示等の指針となっています。



3 西郡分館恒例の「伝承(昔)あそび」を行いました。

7月14日（日）に恒例となっている伝承あそびを公正館で行いました。西郡全体から50名弱の子どもたちが元気に参加して遊び、保護者の皆様を含め約90名の参加がありました。守安桃子さんからは折り紙を用いたクイズが披露され、その後室内では、魚釣り、コマまわし、けん玉、糸でんわ、風車で、また広場では竹水鉄砲で水遊びになりながら水遊びの楽しさを体験するなど、昔あそびを楽しむことができました。最後は、栄養委員の皆様がつくられた美味しいフルーツポンチをいただき、楽しく充実した「昔あそび」となりました



4 今後の行事予定について

- ・7/27（土） 夏祭りやまて2019（山手公民館広場）
- ・7/27（土）～7/29（月） 十日町市との交流行事（山手公民館ほか）
- ・7/31（木） 御崎神社 夏祭（わくぐり祭り）
- ・8/14（火） 西郡盆踊り（公正館広場）
- ・8/25（日） 総社防災シンポジウム（山手公民館）

（連絡先） 公正館でWi-Fiが午前6時から22時までいつでも利用できるようになりました。プリンタも必要な場所に移動してどこでも印刷できるようになりました。

- 絆塾会長 板野 誠 携帯:090-6414-6538、メール: nobita29mi@yahoo.co.jp
西郡自治会長 風早 恵 携帯:090-6435-2014、メール: team_kazayan_mice@orange.plala.or.jp
西郡分館主事 新谷 修 携帯:080-2892-9988、メール: s.niija216@hi2.enjoy.ne.jp
絆塾事務局 畑野 聖志 携帯:090-8714-5037、メール: katashi.kenmotru@gmail.com

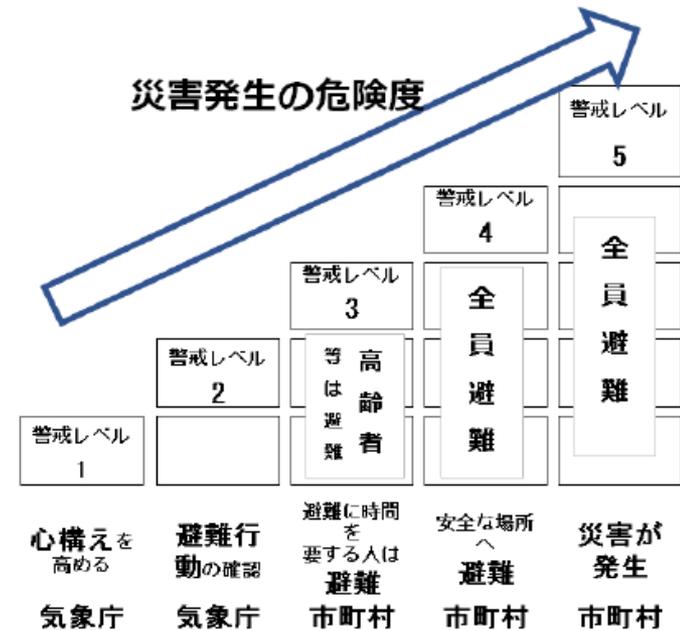
絆塾ニュースによる防災情報の周知

絆塾ニュース8月号

2 避難勧告等に関するガイドラインが改定されました。

平成 31 年 3 月 29 日で改定されたガイドラインでは、住民等が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を 5 段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を明確化しています（内閣府政府広報）。

- 【警戒レベル 1】 気象庁から「早期注意情報」が発令
 - 【警戒レベル 2】 大雨・洪水注意報」が発表される段階
 - 【警戒レベル 3】 高齢者等の避難が必要になる段階
 - 【警戒レベル 4】 全員の避難が必要となります。
 - 【警戒レベル 5】 命を守るための行動が必要になります。
- これが現在の避難指示等の指針となっています。



地域の一体感を高め、情報の共有を図るため、
アパート世帯も含めた全戸(約460世帯)に届けている。

今後の取組

- (1) 住民が自主的に参加できる避難訓練、危険箇所の調査、避難経路地図の作成などを行い、地域の安全と安心を強化する。
- (2) 「西郡地区の防災を考える会」の活動などによって得られる様々な情報(危険箇所、避難場所の案内、避難訓練、過去の災害の記録、ハザードマップなど)をまとめた「西郡の歴史とくらし」(防災編)の編纂を目指す。
- (3) マニュアルの整備、出前講座、イベント開催の機器操作の応援などにより整備した情報機器の活用を促進する。
- (4) 地域の残る映像、記録、文書などを収集・映像化し、地域の伝統や文化を若い世代や転入された方々に継承する。
- (5) 令和2年春の共有地の自治会移管を目標に、事務作業を着実に進めるとともに、管理態勢の検討を進める。